

# 偏差値45から75へ 数学の成績を上げる方法

数学が苦手な人へ  
安心してほしい  
数学は暗記科目なのだ。  
暗記科目ということは、  
頭がよくななくても、時間をかけて  
一生懸命やった人の点数が高くなるのだ。  
だから、数学ができる人を、  
むやみに恐れることはない。  
数学ができなくても、心配要らない。  
ただ、勉強時間が少なかつただけなのだ。  
けして、頭が悪いわけではない。

## 目次

1. 数学は暗記の科目だ
2. 数学の成績をよくするために
3. 暗記する
4. 計算力をアップさせる
5. 概念を理解する
6. 字を綺麗に書く

## 1. 数学は暗記の科目だ

数学は、暗記の科目だということは、  
わかる人はわかっている。

純粋な思考力を図るという目的ならば、  
それは数学よりも国語のほうがあっている。

国語は、時間をかけて暗記しても成績は上がらない。

純粋な頭のよさが問われると言ってもよい。

その点、数学は違う。暗記なのだ。

確かに、数学の全く苦手な人

（中学数学を完全にマスターすることができなかった人）にとっては、  
数学は、一部の頭のよい人にしかできない

特殊な科目と思うかもしれない。

その意味では、数学ができるということは

頭がいいということにつながるのかもしれない。

ただ、これは、早い段階で、振り落とされる人が  
多くいるということである。

頭がよくななくても、中学レベルをじっと耐え、

まじめについていけば、あとは暗記である。

頭が悪くても、数学の点数を上げることはできる。

## 2. 数学の成績をよくするために

以下の4点である。

<1>暗記する

→数学を勉強するときは、その回答方法を覚える。

<2>計算力をアップさせる

→ケアレスミスがあると、点数は大きく下がる。

<3>概念を理解する

→暗記することができるレベルの理解は必須。

<4>字を綺麗に書く

説明しよう。

## 3. 暗記する

多く人は、数学の問題を解くときに、  
わからなくても自分で解くことが重要だと考えていると思う。  
しかし、これが違う。  
武道などもそうであるが、  
基本を身につけることが先ずは重要なのだ。  
基本を体で覚えることが近道なのだ。  
この基本をないがしろにして、自我流でやってしまうと、  
その悪い癖がなかなか抜けなくなってしまうのだ。  
時間をかけて、間違った解法をすると、その間違った内容が、  
頭にしみこんでしまうのである。  
苦勞が全く報われないことになってしまう。

## 4. 計算力をアップさせる

計算力とは、四則計算である。

足し算、引き算、掛け算、割り算である。

暗算が得意であれば当然有利だ。

しかし、ここで言うのは、高度なことではない。

計算を間違えないということだ。

数学の問題を解く中で、足を大きく引っ張るのは、

ケアレスミスによる計算誤りだからだ。

ケアレスミスがなくなると、安心して問題に立ち向かえる。

点数は大きくアップする。

## 5. 概念を理解する

数学は暗記だといった。暗記のために必要なことは何か。

それは理解だ。スムーズに暗記ができるようになるための理解だ。

たとえば、三角形の面積を求める公式、

その公式の意味を理解して（腑に落ちて）の暗記と、

全く理解していない状態での暗記を比べてほしい。

概念の理解の重要さはわかると思う。

## 6. 字を綺麗に書く

これも、ケアレスミスとつながる問題である。  
計算過程のメモの5と6を取り違えたりしたら大きな損である。  
ケアレスミスを防ぐためにも重要なことである。  
さらに、字がきれいなことにより、イメージが沸き、考えが深まるのである。

以上を確実にこなすことができれば、数学だけでいえば、東大合格も可能である。

=====  
ご意見等ありましたら、  
下記へご連絡お願いいたします。

発行者 藤原一太郎  
連絡先 hssk1101@yahoo.co.jp

こちらのブログも、ご参照ください  
エクセレント ライフ  
<http://hssk2101.seesaa.net/>

=====